

目 次

第1章 ウェストミンスターを探求する ————— 1

- 1 ウェストミンスター・モデルに関する信念 6
- 2 ウェストミンスターを比較する 11
- 3 5つの大自治領 14
- 4 私たちのアプローチ 19

第2章 ウェストミンスターを比較する ————— 25

- 1 競合するアプローチ 27
- 2 解釈アプローチというオルターナティブ 31
- 3 いかに執政政府を研究するか 39
- 4 主要な討論 41
- 5 結論——改定された中心的テーマ 50

第3章 生きている伝統 ————— 53

- 1 君主大権 55
- 2 責任政府という伝統 67
- 3 立憲的官僚制の伝統 74
- 4 代表政府という伝統 79
- 5 結 論 88

第4章 執政と内閣 ————— 91

- 1 主張の検討——カナダの独裁制 92
- 2 大統領化に関する逸話はどこかよそで信憑性を得る 94
- 3 大統領化テーゼ 99
- 4 証拠を評価する 101

5	証拠を一緒に描く	115
6	代替的な諸説明	116
7	結 論	133

第5章 大臣責任 ————— 139

1	「規則なし」という進化する伝統	142
2	「責任政府」——公式的立場	146
3	内閣連帯と集団的責任	151
4	大臣責任	160
5	誰に対する説明責任か？	168
6	大臣たちに関する英雄的見解への回帰	180
7	多様な説明責任の網の目	182

第6章 公務サービス ————— 185

1	屈折した諸伝統	187
2	諸伝統の伝達と再修正	189
3	挑戦とディレンマ——なぜ、そしてなぜ今？	202
4	政策助言への競争	211
5	経営主義	215
6	結 論	221

第7章 議会と代表 ————— 225

1	議会主権に対する今日の制限	229
2	執政府の持続	234
3	上院の機能	243
4	「忠誠心を持つ」反対党	247
5	誰を代表するのか？	253
6	中央—周辺ダイナミクス	256
7	結 論	258

第8章 ウェストミンスターの意味 ————— 261

- 1 ウェストミンスターの諸議論の立脚点 261
- 2 ウェストミンスター神話の恩恵 264
- 3 物語としてのウェストミンスター 267
- 4 政治的利点としてのウェストミンスター 270
- 5 解釈の正統化としてのウェストミンスター 272
- 6 制度的符号としてのウェストミンスター 273
- 7 効果的政治システムとしてのウェストミンスター 275
- 8 結論——正確さのための研究の自覚 277

訳者あとがき

文 献

索 引